

## ○ 教育課程

日本女子大学のカリキュラムは、全学共通の基盤的科目群と学科で提供する専門科目群の2つから構成される。その科目は1年次から4年次まで年次を追って段階的に履修できるように配置されている。

本学の学生は、1年次を中心に全学共通の基盤的科目群を履修して、大学ディプロマ・ポリシーおよび学科ディプロマ・ポリシーで示す学修成果に関連する基礎的な力を身につける。さらに1年次から4年次にかけての学科の専門科目の履修を通して、大学ディプロマ・ポリシーおよび学科ディプロマ・ポリシーの学修成果を身につけ、さらにその達成度レベルを上げていく。全学共通の基盤的科目群の中には、4年間を通じて履修するものもある。

本学で提供する全学共通基盤的科目は以下のとおり。

### 教養特別講義

本学の建学の精神と教育理念（三綱領）を学ぶ。自らの生き方や将来について主体的に考察を深め、三綱領の内容を実践していこうとする態度を身につけて、生涯を通して学ぶ意識を高める。本講義は1年次に少人数クラスを編成して、アクティブ・ラーニング形式で行われる。

### JWU キャリア科目・JWU 社会連携科目

JWU キャリア科目は、社会的・職業的自立に向けて必要な知識、技能、態度を身につける科目である。JWU 社会連携科目は、地域や社会が抱える多様な課題について実践的に取り組み、社会で力を発揮するための豊かな行動力を身につける科目である。講義科目だけでなく、職業人との対話や自治体や企業と協働して進める実践的な取り組みを含む演習科目もある。

### 基礎科目

心身の基礎的な教養を身につけるために、外国語、情報処理、身体運動から構成されている。所属する学科の専門科目を学修するための学問的基礎となるだけでなく、現代社会の一員として生きていくための基礎力を身につける。

#### ・外国語（必修英語）

英語によるコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力の基礎を習得するため、1年次に1年間履修する。

#### ・外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語）

ドイツ語、フランス語、中国語、または韓国語を学ぶための科目。1年次に1年間を通して、少人数クラスで行われる。学生は、原則、学生の履修希望にそってクラス配属される。

### ・情報処理

現代社会に必須な情報科学・情報処理の基礎、および情報倫理を実践的に学ぶための科目。1年次に半年間履修する。

### ・身体運動

生涯の健康維持・増進のためには適切な運動が必要である。その理解を深め、スポーツ・身体運動を実践する能力を育成するため、1年次に1年間通して履修する。

### 教養科目

様々な学問分野の科目から構成される。専門分野以外の幅広い知識を身につけるために講義形式で行われる授業である。中には、少人数クラスでアクティブ・ラーニングを中心とした授業もある。科目は、「多様な社会と人間の尊厳」「自然の摂理の探求」「知性と文化の系譜」の3つのテーマの科目群に分かれ、いずれのテーマの科目も必ず履修する。

上記の基盤的科目群のうち、外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語）および情報処理に関しては、上級レベルの力や高度な知識・技能を身につけるための関連科目も全学科の希望学生に提供する。この履修によって、ディプロマ・ポリシーで示す学修成果のレベルを超えたより高度な知識・技能を習得することも可能である。

学科ごとの学位プログラムにおいては、学科の学問分野を踏まえた基礎的な科目および専門科目・プログラムが提供される。これらの科目、いわゆる**学科科目**は、4年間かけて学年ごとに体系的に履修を進めていく。講義形式だけでなく、アクティブ・ラーニングを主体とする演習形式や実験科目も数多く提供される。また、体験的なプログラムを提供する学科もある。

本学では全ての学生に対し、**卒業論文・卒業研究・卒業制作**（学科によっていずれかを指定あるいは選択）を必修としている。卒業論文・卒業研究・卒業制作は4年間の学びの集大成であると同時に、大学ディプロマ・ポリシーで定める様々な力を有機的に身につける機会である。

また、入学後すぐに、大学での学びに関する理解と生涯にわたる学びの導入を目的とした全学的な**初年次教育**を行う。そこでは、入学までに培った知識・技能・態度などを振り返りつつ将来の目標を設定し、自己を成長させる意識を持たせる取り組みを、学修ポートフォリオ（マイステップ@JWU）を使って実践する。このポートフォリオを使った目標の設定・振り返りを4年間継続して行い、「生涯を通じて学ぶ態度」につなげていく。

### ○ 通信教育課程について

通信教育課程は、本課程に属する学科それぞれでディプロマ・ポリシーを策定し、その達成を目指したカリキュラムが用意されている。通信教育課程で提供する科目は以下のとおり。

基礎科目（外国語）  
基礎科目（情報処理）  
基礎科目（身体運動）  
教養科目  
家政学部共通科目  
学科科目（必修・選択）

最終年次学生を対象に必修のセミナーを開講し、勉学の総仕上げを行う。卒業論文は選択科目として履修することが可能である。また、希望者に対しては教職に関する科目も提供される。いずれの学科のカリキュラムも、テキスト科目とスクーリング科目から構成され、通信教育のための教育体制を整えている。

#### ○ ディプロマ・ポリシーで示す学修成果を身につけるための科目

大学ディプロマ・ポリシーで示す学修成果は、全学共通の基盤的科目群と学科が提供する科目の両方を履修することによって身につけていく。本学が提供する全ての科目は個別に**到達目標**を設定している。その到達目標はいずれも、大学ディプロマ・ポリシーおよび学科ディプロマ・ポリシーで示す学修成果につながる。なお、学科科目と学科ディプロマ・ポリシーとの対応は、**カリキュラム・マップ**として提示する。

学科ディプロマ・ポリシーで示す学修成果は、学科の専門分野を踏まえ、学科独自の教育の目標や方針に沿って大学ディプロマ・ポリシーをより具体化したものである。そのため、学科ディプロマ・ポリシーの一つひとつが大学ディプロマ・ポリシーの学修成果に結びつくが、その結びつき方は学科によって異なる。この違いは、本学の学科の分野と教育方針の特徴を表すものに他ならない。

以下、大学ディプロマ・ポリシーがどのような科目や取り組みによって達成されるかを記す。なお、各ディプロマ・ポリシーが示す学修成果の細目については、別項を参照すること。

#### 大学 DP1 変わりゆく社会を豊かに生きる確かな知識と教養

全学共通基盤的科目群である「教養科目」「基礎情報処理」に加え、各学科で提供する基礎科目、専門科目および演習・実験などの履修を通じて身につける。

#### 大学 DP2 新たな価値や新しい知を創造するための基礎力

この学修成果も全学共通基盤的科目群である「教養科目」「基礎情報処理」に加え、学科で提供する様々な科目やプログラムにおける情報収集、課題設定、論理的思考、ディスカッションあるいはプレゼンテーションなどの取り組みを通じて身につける。

なお、4年次に行う卒業論文・卒業研究・卒業制作を通して DP1 と DP2 を有機的に身につけていく。

### 大学 DP3 多様性を尊重し、協働する力

全学共通基盤的科目群である「教養特別講義(\*)」「外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語）」「JWU キャリア科目・JWU 社会連携科目(\*)」における講義、グループワーク、プレゼンテーション、あるいは体験学習などを通して身につける。学科によっては、多様性に関する理解をさらに深める科目、他者へ共感する力や協働する力をさらに高める科目やプログラムを提供する。

### 大学 DP4 地球レベルの視野をもって生活し、行動する力

全学共通基盤的科目群である「外国語（必修英語）」と「外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語）」の履修を通して、外国語によるコミュニケーションスキルを習得する。

「JWU キャリア科目・JWU 社会連携科目(\*)」の履修を通して、生活・社会・地域・世界などに関わる課題・問題を発見し、自分事として関わる力を育成する。さらに、実践的な取り組みを行う科目を通して、行動する力を育む。

さらに、「学科科目」や「教養科目」などを通して、人々の生活や社会活動と地球レベルの問題とがつながることを理解する。

### 大学 DP5 主体的に生涯学び続ける態度

「教養特別講義(\*)」、「身体運動」、「JWU キャリア科目・JWU 社会連携科目(\*)」だけでなく、「卒業論文・卒業研究・卒業制作」を含む様々な取り組みや学びを通して身につけていく。自分の健康の保持・増進を土台にして、知識・技能、思考力・課題発見力、協働する力などを新たに身につけ向上させている自身を見つめ、目標に向かって生涯学ぶ態度を、4年間の中で醸成していく。

(\*) 通学課程のみ設置